

# 第1期下野市歯科保健基本計画を策定しました

■問い合わせ先 健康増進課 ☎(52)1116

## ■策定の趣旨

本計画は、市民の生涯にわたる健康の保持及び増進に寄与するため、歯及び口腔の健康づくりの推進に関する基本理念等を定めた「下野市歯及び口腔の健康づくり推進条例」(平成26年4月施行)に基づき、歯及び口腔の健康づくりを総合的かつ計画的に推進するために策定しました。

## ■計画期間

平成27年度～29年度(3か年)

## ■計画の基本理念

- ①市民が日常生活において、歯及び口腔の健康づくりに取り組むことを促進する。
- ②市民がその発達段階、年齢階層、心身の状況等に応じて、良質かつ適切な歯及び口腔の保健医療サービスを受けられることができる環境の整備を図る。
- ③保健、医療、福祉、教育その他の分野における施策相互の連携を図り、総合的かつ計画的に歯及び口腔の

健康づくりを推進する。

## ■計画の基本方針

- ①「下野市歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づいた取り組みを実施する。
- ②「健康しもつけ21プラン」との整合性を図る。
- ③目標と目標値を設定し、達成状況を評価する。

## ■具体的な取組

ライフステージ(乳幼児

期・学齢期・成人期・高齢期)における具体的な取組については、7月号の広報でお知らせします。

■計画の推進

- ・広報紙やホームページ等に計画の内容を掲載し周知・啓発します。
- ・歯及び口腔の健康づくりの各種事業や健康診査等の機会を通じて取組等を

## ■計画の評価

本計画は、平成29年度に評価を行い、目標の達成度を検証・評価し、次期歯科保健基本計画に反映します。

周知します。

市民一人ひとりの歯及び口腔の健康づくりを増進させるための支援の充実、地域や行政の連携を強化した推進体制を充実します。

・関係する庁内各課との連携を深め、全庁的に推進します。

6月1日～10日は、**歯と口の健康週間**です!

計画策定にあたり実施したアンケート調査では、自分の口の中(歯と歯ぐき)の健康で気を付けていることは、歯と歯ぐきの境目をみがくようにしている人が51.3%と最も高い結果でした。定期健診に行く人の割合は29.1%ですが、歯の痛みなど、自覚症状がなくても定期的に歯科健診を受診しましょう。

## ■目標値

	項目	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成29年度)
乳幼児期	むし菌のない児の割合(3歳児)	82.0%	90.0% (国の目標値)
	むし菌のない児の割合	49.2%	60.0% (国の目標値)
小学生	処置完了者の割合	24.0%	27.0%
	未処置者の割合	26.8%	13.0%
	むし菌のない生徒の割合	78.6%	80.0%
中学生	処置完了者の割合	13.2%	17.0%
	未処置者の割合	8.2%	3.0%
	歯科の定期健診を受けている人の割合	男性27.4% 女性35.9%	男性50.0%以上 女性50.0%以上
成人期	歯周疾患検診を受けている人	99人	150人以上
	60歳以上で歯が20本以上ある人の割合	68.9%	70.0%
高齢期	8020運動を知っている人の割合	59.4%	70.0%
	口腔ケアについて指導を受けたことがある施設の割合	障がい者(児)施設 22.2% 介護施設 55.6%	100% 100%

自分の口の中(歯と歯ぐき)の健康で気を付けていること(複数回答)

